

「造血細胞移植治療の全国調査」に同意いただいた患者さん及びそのご家族へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	造血器腫瘍傷害性 T 細胞の抗原特異性と抗腫瘍活性機序に関する研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇学
担当科等	血液内科
研究責任者	(職名) 准教授(特任) (氏名) 水野昌平
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター 特任教授・赤塚美樹
研究の意義・目的	造血器腫瘍(以後は「白血病」とします)患者さんには、抗がん剤を使った化学療法や分子標的剤といった腫瘍細胞だけを狙った治療が行われます。これだけで完治できない患者さんが同種造血幹細胞移植(いわゆる骨髄移植)を受けられます。 目的: 私たちは白血病を標的としたキラー T 細胞を体外で増やして、これを患者さんの体に戻すことで白血病の治療を行う免疫細胞療法を開発することです。その際に大切なことは培養器の中で作ったキラー T 細胞が、さまざまなタイプの白血病のうちどれに効果があるかを事前に調べる必要があります。現在私たちはこの目的のため少しでも多くのタイプの白血病細胞を集めようとしています。
対象となる患者さん	2011 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに、急性もしくは慢性白血病と診断され、診断の際に末梢血・骨髄液の保存に同意された方。
研究の方法	白血病の診断時に採取した試料の余剰分が凍結保存されていた場合、それを解凍して以下の 2 点の検討を行います。 ・研究で作成したキラー T 細胞を、HLA 型が一致した白血病細胞と混ぜてキラー活性を測定。 ・白血病細胞を障害できない場合の、逃避のメカニズムの解析。  研究の実施場所: 名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学教室(愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 医系研究棟 3 号館 7 階)
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2024 年 7 月 31 日
研究に用いる試料・	試料: 凍結保存骨髄細胞・末梢血単核球細胞

<p>情報</p>	<p>情報：カルテ情報（最終診断、性別、診断時年齢のみ）血液検査結果、骨髓検査結果、白血病細胞の染色体検査および造血器腫瘍遺伝子検査</p> <p>本研究では HLA 型検査のために DNA が、キラー活性感受性解析のため RNA が、受託企業へそれぞれ送付されますが、その際には受託企業と名古屋大学との間において、個人情報保護に関して覚書を締結した後に送付されます。</p> <p>HLA 型検査：HLA 研究所  （京都市下京区中堂寺南町 134 京都リサーチパーク 1 号館 2F）  RNA 遺伝子変異解析・発現解析：株式会社マクロジェン・ジャパン  （東京都江東区青海 2 丁目 4 番 32 号タイム 24 ビル 16F）</p>
<p>外部への試料・情報の提供</p>	<p>あり(名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター、HLA 研究所、RNA 遺伝子変異解析・発現解析：株式会社マクロジェン・ジャパン)</p>
<p>試料・情報の利用又は提供を希望しない場合</p>	<p>2023 年 6 月 30 日までに血液内科担当医もしくは血液内科水野昌平までご連絡ください。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>愛知医科大学病院  医学部 血液内科  担当者：(職名)准教授(特任) (氏名)水野昌平  〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1  電話 0561-62-3311 (内線 23540)</p>